

昭和十七年三月二十四日

大臣行

次官

秘書課長

文書課長

會計課長

理事官

這般次官會議ニ於テ各省官制通則改正ニ
関レ意見アル向ハ提案相成度旨ノ説明有之ハ
ニ付テハ當省改正意見別案ノ通提案致度
仰高裁

伺

裏面白紙

大日本帝國政府

各省官制通則ノ改正ニ關スル意見案

一 局ノ下ニ必要ニ應ジ部ヲ直キ得ルコトトシ部ニ部長ヲ直キ勅任官ヲ以テ之ニ充テ、尙右ノ場合局長ヲ局長官トスル如ク改ムルコト

理由

近時行政事務ノ複雑化ニ伴ヒ従前ノ局課ノ組織ニテハ欠陥多ク已ムヲ得ズ外局トシテ分離セザルベカラザルノ傾向アリ、外局ヲ設クベキ必要ヨリスルニ非ズシテ各省官制通則ノ東縛ヨリ外局ニ分離スルハ大臣、次官殊ニ次官ノ所管行政統制力ヲ弱ムルノミナルヲ以テ本文ノ如ク改正シ又局長ヲ此ノ場合局長官ト改メントスルハ一等官トシ其ノ俸給モ局長ヨリ高カラシメントスル趣旨ニ出ヅ而シテ部長ノ官等俸給ハ局長官ト同一ナラシムルヲ可ト存ズ

裏面白紙

大日本帝國政府

ニ次官ハ外局ノ長官ヲ監督シ得ル如ク改ムルコト

理由

近時行政ヲ綜合集注的ニ運営スルノ要切ナルモノアルヲ以テ之ガ爲各省大臣ガ内局、外局ヲ通ジ一貫セル方針ヲ以テ運営ヲ行ハントスルニハ次官ヲシテ外局ノ長官ヲ監督シ得ルモノトスルノ必要アリ、又前項ノ改正ト均衡ヲ保ツ上ヨリセ此ノ改正ヲ要ス、更ニ斯ノ如ク改正スルコトニ因リ全省ノ行政ヲ擔ヒテ各省次官會議ニ臨ムコトヲ得ベシ

ニ勅任書記官ヲ置キ得ル如ク改正スルコト

理由

現行ノ如ク書記官ヲ勅任ト爲ス爲事務官等ニ轉ゼシムルガ如キハ熟達者ヲ永ク同地位ニ置キ其ノ手腕ヲ發揮セシムル上ニ不便不利ナルニ因ル、尙場合ニ依リ勅任書記官ヲ參事官ト改稱スルモ可ナリト存ズ

裏面白紙

大日本帝國政府

●各省官制通則

明治二十六年十月三十一日
勅令第百二十二號

改正

昭二九年第三七號、三〇年第八四號、三一年第二五七號、三二年第二五四號、三三年第一六一號、三五年第六〇號、三六年第二〇八號、四一年第二二四號
大正三年第二〇七號、九年第一四三號、一三年第一七六號、第三二號、一四年第三五號
昭四年第一五一號、一三年第六號

第一條 本則ハ外務、内務、大藏、陸軍、海軍、司法、文部、農林、商工、遞信、鐵道、拓務及厚生ノ各省ニ適用ス

第二條 各省大臣ハ主任ノ事務ニ付其ノ責ニ任ス

主任ノ明瞭ナラサル事務ニシテ兩省以上ニ關涉スルモノアルトキハ閣議ニ提出シテ其ノ主任ヲ定ム

第三條 各省大臣ハ主任ノ事務ニ付法律勅令ノ制定、廢止及改正ヲ要スルコトアルトキハ案ヲ具ヘ閣議ニ提出スヘシ

第四條 各省大臣ハ主任ノ事務ニ付其ノ職權若クハ特別ノ委任ニ依リ省令ヲ發スルコトヲ得

裏面白紙

大日本帝國政府

第五條 各省大臣ハ主任ノ事務ニ付警視總監、北海道廳長官、府縣知事ニ指令又ハ訓令ヲ下スコトヲ得

第六條 各省大臣ハ主任ノ事務ニ付警視總監、北海道廳長官、府縣知事ヲ監督ス若シ警視總監、北海道廳長官、府縣知事ノ命令又ハ處分ノ成規ニ違ヒ公益ヲ害シ又ハ權限ヲ犯スモノアリト認ムルトキハ其ノ命令又ハ處分ヲ停止シ又ハ取消スコトヲ得

第七條 各省大臣ハ所部ノ官吏ヲ統督シ奏任官ノ進退ハ內閣總理大臣ヲ經テ之ヲ上奏シ判任官以下ハ之ヲ專行ス

地方官廳奏任官ノ進退ハ內閣總理大臣ヲ經テ內務大臣之ヲ上奏ス

第八條 各省大臣ハ內閣總理大臣ヲ經テ所部ノ官吏ノ敘位敘勳ヲ上奏ス

地方官廳官吏ノ敘位敘勳ハ前條第二項ノ例ニ依ル

第九條 削除

第十條 各省ニ大臣官房ヲ置ク

大臣官房ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

裏面白紙

大日本帝國政府

- 一 機密ニ屬スル事項
 - 二 官吏ノ進退身分ニ關スル事項
 - 三 大臣ノ官印及省印ノ管守ニ關スル事項
 - 四 公文書類及成案文書ノ接受發送ニ關スル事項
 - 五 統計報告ノ調製ニ關スル事項
 - 六 公文書類ノ編纂保存ニ關スル事項
 - 七 本省所管ノ經費及諸收入ノ豫算、決算並會計ニ關スル事項
 - 八 會計ノ監査ニ關スル事項
 - 九 本省所管ノ官有財産及物品ニ關スル事項
 - 十 其ノ他各省官制ニ依リ特ニ大臣官房ノ所掌ニ屬セシムル事項
- 各省ノ便宜ニ從ヒ大臣官房ノ事務ハ各局ニ於テ又ハ特ニ局ヲ設ケテ之ヲ處理セシムルコトヲ得
- 第十一條 削除
- 第十二條 各省中省務ヲ分掌スル爲局ヲ置ク其ノ分掌事務ハ各省官制ニ於テ之

裏面白紙

大日本帝國政府

ヲ定ム

第十三條 大臣官房及各局ノ分課ハ各省大臣ノ定ムル所ニ依ル

陸軍省海軍省中ノ分課ハ各其ノ省官制ニ於テ之ヲ定ム

第十四條 各省ニ左ノ職員ヲ置ク

政務次官

次官

參與官

局長

祕書官

書記官

屬

第十四條ノ二 各省政務次官ハ一人勅任トス

第十四條ノ三 政務次官ハ大臣ヲ佐ケ政務ニ參畫シ帝國議會トノ交渉事項ヲ掌

理ス

裏面白紙

大日本帝國政府

- 第十五條 各省次官ハ一人勅任トス
- 第十六條 次官ハ大臣ヲ佐ケ省務ヲ整理シ各局部ノ事務ヲ監督ス
- 第十七條 各省參與官ハ一人勅任トス大臣ノ命ヲ承ケ帝國議會トノ交渉事項其ノ他ノ政務ニ參與ス
- 第十八條 各局局长ハ一人勅任トス大臣ノ命ヲ承ケ其ノ主務ヲ掌理シ及局中各課ノ事務ヲ指揮監督ス
- 第十九條 削除
- 第二十條 削除
- 第二十一條 秘書官ハ委任トス大臣ノ命ヲ承ケ機密事務ヲ掌リ又ハ臨時命ヲ承ケ各局課ノ事務ヲ助ク
- 第二十二條 書記官ハ委任トス大臣ノ命ヲ承ケ大臣官房ノ事務ヲ掌リ又ハ各局ノ事務ヲ助ク
- 第二十三條 各省專任秘書官ハ一人トス
- 第二十四條 大臣官房及局中各課ニ課長一人ヲ置キ高等官ヲ以テ之ニ充ツ

裏面白紙

大日本帝國政府

課長ハ命ヲ上官ニ承ケ課務ヲ掌理ス

陸軍省海軍省中ノ課長ハ各其ノ省官制ノ定ムル所ニ依ル

第二十五條 屬ハ判任トス上官ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

第二十六條 削除

第二十七條 本則ニ掲クルモノ、外各省特別ノ職員ヲ置クコトヲ要スルモノハ

各省官制ニ於テ之ヲ定ム

書記官、屬及前項ノ規定ニ依ル職員ノ定員ハ各省官制ノ定ムル所ニ依ル

附則

第二十八條 本令ハ明治二十六年十一月十日ヨリ施行ス

裏面白紙

大日本帝國政府

各省官制通則ノ改正ニ關スル意見

武井厚生次官

843

裏面白紙

大日本帝國政府

一 局ノ下ニ必要ニ應ジ部ヲ置キ得ルコトトシ部ニ部長ヲ置キ勅任官ヲ以テ之
ニ充テ、尙右ノ場合局長ヲ局長官トスル如ク改ムルコト

理由

近時行政事務ノ複雑化ニ伴ヒ従前ノ局課ノ組織ニテハ缺陷多ク已ムヲ得
ズ外局トシテ分離セザルベカラザルノ傾向アリ、外局ヲ設クベキ必要ヨ
リスルニ非ズシテ各省官制通則ノ束縛ヨリ外局ニ分離スルハ大臣、次官
殊ニ次官ノ所管行政統制力ヲ弱ムルノミナルヲ以テ本文ノ如ク改正シ又
局長ヲ此ノ場合局長官ト改メントスルハ一等官トシ其ノ俸給モ局長ヨリ
高カラシメントスル趣旨ニ出ヅ而シテ部長ノ官等俸給ハ局長ト同一ナラ
シムルヲ可ト存ズ

裏面白紙

参考

大日本帝國政府

●各省官制通則

明治二十六年十月三十一日
勅令第百二十二號

改正

嚮二九年第三七號、三〇年第八四號、三一年第二五七號、三二年第二五四號、三三年第一六一號、三五年第六〇號、三六年第二〇八號、三七年第三三三號、三八年第二〇七號、九年第一四三號、一二年第一七六號、第三二二號、一四年第三五號、一五年第一五一號、一二年第六號

第一條 本則ハ外務、内務、大藏、陸軍、海軍、司法、文部、農林、商工、遞信、鐵道、拓務及厚生ノ各省ニ適用ス

第二條 各省大臣ハ主任ノ事務ニ付其ノ責ニ任ス
主任ノ明瞭ナラサル事務ニシテ兩省以上ニ關涉スルモノアルトキハ閣議ニ提出シテ其ノ主任ヲ定ム

第三條 各省大臣ハ主任ノ事務ニ付法律勅令ノ制定、廢止及改正ヲ要スルコトアルトキハ案ヲ具ヘ閣議ニ提出スヘシ

第四條 各省大臣ハ主任ノ事務ニ付其ノ職權若クハ特別ノ委任ニ依リ省令ヲ發スルコトヲ得

裏面白紙

大日本帝國政府

第五條 各省大臣ハ主任ノ事務ニ付警視總監、北海道廳長官、府縣知事ニ指令又ハ訓令ヲ下スコトヲ得

第六條 各省大臣ハ主任ノ事務ニ付警視總監、北海道廳長官、府縣知事ヲ監督ス若シ警視總監、北海道廳長官、府縣知事ノ命令又ハ處分ノ成規ニ違ヒ公益ヲ害シ又ハ權限ヲ犯スモノアリト認ムルトキハ其ノ命令又ハ處分ヲ停止シ又ハ取消スコトヲ得

第七條 各省大臣ハ所部ノ官吏ヲ統督シ委任官ノ進退ハ内閣總理大臣ヲ經テ之ヲ上奏シ判任官以下ハ之ヲ專行ス

地方官廳委任官ノ進退ハ内閣總理大臣ヲ經テ内務大臣之ヲ上奏ス

第八條 各省大臣ハ内閣總理大臣ヲ經テ所部ノ官吏ノ敘位敘勳ヲ上奏ス

地方官廳官吏ノ敘位敘勳ハ前條第二項ノ例ニ依ル

第九條 削除

第十條 各省ニ大臣官房ヲ置ク

大臣官房ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

裏面白紙

大日本帝國政府

- 一 機密ニ屬スル事項
 - 二 官吏ノ進退身分ニ關スル事項
 - 三 大臣ノ官印及省印ノ管守ニ關スル事項
 - 四 公文書類及成案文書ノ接受發送ニ關スル事項
 - 五 統計報告ノ調製ニ關スル事項
 - 六 公文書類ノ編纂保存ニ關スル事項
 - 七 本省所管ノ經費及諸收入ノ豫算、決算並會計ニ關スル事項
 - 八 會計ノ監査ニ關スル事項
 - 九 本省所管ノ官有財産及物品ニ關スル事項
 - 十 其ノ他各省官制ニ依リ特ニ大臣官房ノ所掌ニ屬セシムル事項
- 各省ノ便宜ニ從ヒ大臣官房ノ事務ハ各局ニ於テ又ハ特ニ局ヲ設ケテ之ヲ處理セシムルコトヲ得
- 第十一條 削除
- 第十二條 各省中省務ヲ分掌スル爲局ヲ置ク其ノ分掌事務ハ各省官制ニ於テ之

裏面白紙

大日本帝國政府

ヲ定ム

第十三條 大臣官房及各局ノ分課ハ各省大臣ノ定ムル所ニ依ル

陸軍省海軍省中ノ分課ハ各其ノ省官制ニ於テ之ヲ定ム

第十四條 各省ニ左ノ職員ヲ置ク

政務次官

次官

參事官

局長

秘書官

書記官

屬

第十四條ノ二 各省政務次官ハ一人勅任トス

第十四條ノ三 政務次官ハ大臣ヲ佐ケ政務ニ參畫シ帝國議會トノ交渉事項ヲ掌

理ス

裏面白紙

大日本帝國政府

- 第十五條 各省次官ハ一人勅任トス
- 第十六條 次官ハ大臣ヲ佐ケ省務ヲ整理シ各局部ノ事務ヲ監督ス
- 第十七條 各省參典官ハ一人勅任トス大臣ノ命ヲ承ケ帝國議會トノ交渉事項其ノ他ノ政務ニ參與ス
- 第十八條 各局局长ハ一人勅任トス大臣ノ命ヲ承ケ其ノ主務ヲ掌理シ及局中各課ノ事務ヲ指揮監督ス
- 第十九條 削除
- 第二十條 削除
- 第二十一條 秘書官ハ委任トス大臣ノ命ヲ承ケ機密事務ヲ掌リ又ハ臨時命ヲ承ケ各局課ノ事務ヲ助ク
- 第二十二條 書記官ハ委任トス大臣ノ命ヲ承ケ大臣官房ノ事務ヲ掌リ又ハ各局ノ事務ヲ助ク
- 第二十三條 各省專任秘書官ハ一人トス
- 第二十四條 大臣官房及局中各課ニ課長一人ヲ置キ高等官ヲ以テ之ニ充ツ

裏面白紙

大日本帝國政府

課長ハ命ヲ上官ニ承ケ課務ヲ掌理ス

陸軍省海軍省中ノ課長ハ各其ノ省官制ノ定ムル所ニ依ル

第二十五條 屬ハ判任トス上官ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

第二十六條 削除

第二十七條 本則ニ掲グルモノ、外各省特別ノ職員ヲ置クコトヲ要スルモノハ

各省官制ニ於テ之ヲ定ム

書記官、屬及前項ノ規定ニ依ル職員ノ定員ハ各省官制ノ定ムル所ニ依ル

附則

第二十八條 本令ハ明治二十六年十一月十日ヨリ施行ス

裏面白紙

各省官制通則ノ改正ニ関スル意見

武井厚生次官

官制通則

裏面白紙